

2014. 10. 18 神戸

(第3種郵便物認可)

神戸 戸

極める

宇佐崎地区・堀江さん

かじ取り役 鮮やか 「棒端」で体格生かす

屋台の上で「棒端」を務める堀江崇雅さん
— 姫路市白浜町



群集の中で、荒ぶる屋台の進路を調整するかじ取り役「棒端」。約2斗ある屋台の本棒の綱を引き、全体のバランスを取る役割で、各村とも力自慢をさらえる。宇佐崎地区の堀

江崇雅さん(32)もその一人だ。生まれ育ちは宇佐崎ではない。祭り好きを友人らに買われ、6年前から参加。当初は練り子として加わっていたというが、「182

センチの体格を生かしたい」と昨年、棒端に立候補した。「昔から、この祭りに憧れていた。地域が一致団結する感じが最高」と目を輝かせる。屋台を押し引きする文

イミングや、強さと繊細さが求められる力加減などは「まだまだ」と謙遜するが、「これからの棒端一筋でいきたい」と、かける思いは人一倍強い。

祭りが最高潮を迎えた本宮のお旅山。ほかの地区の屋台との勇壮な練り合わせに、観客が拍手喝采する。「この熱気がたまらん」。輝く屋台を背に、笑顔で汗を拭いた。

(末永陽子)